

青少年教育者のためのSTEPUPセミナー④～熊編～



【期日】 2026/2/13

【対象者】 育施設職員, 社会教育関係職員, 学校教育関係職員 等

【参加人数/募集人数】 21 / 30

1. 趣旨

「熊についての理解を深め、正しく恐れよう!」を主題に、熊(主にヒグマ)の生態や習性、行動に関する事や熊に出会わない対策や実際の取り組みなどを講義を通して学び、次年度に向けて安心安全な体験活動を子どもたちに提供していくための手立てを考えるきっかけとする。

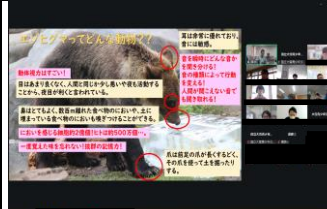
2. プログラム内容

タイトル	時間	講師
講義①	15:05～15:55 (50分)	【講師】佐賀 真一 氏 (旭川市旭山動物園 飼育スタッフ主査・学芸員 教育・保全担当)
講義②	16:00～16:50 (50分)	【講師】高橋 克巳 氏 (北海道上川総合振興局 保健環境部環境生活課 自然環境係長)

3. 活動内容

①エゾヒグマを知って欲しい!

旭山動物園でヒグマ飼育の担当をしている佐賀氏に、エゾヒグマの生態や食性、昨今のクマ被害やクマの歴史について、実際の動物園でのエピソードや動画などを交えてお話ししていただいた。



②北海道のヒグマを取り巻く現状と対策について

上川総合振興局でヒグマ対策などを行っている高橋氏に、ヒグマを取り巻く現状やその被害、そしてヒグマ対策の取り組みについて講義していただいた。講義を通して団体や個人のできる対策について考えた。



4. アンケート結果

質問：事業全体に対する満足度をお答えください。

たいへん満足	やや満足	やや不満	たいへん不満
7	1	0	0

5. 参加者の声

- ・クマに遭遇したときの対処法を根拠を持って知ることができました。
- ・熊の特徴を学ぶことで有意義な時間でした。
- ・改めて熊と人間の境界線をしっかりと意識しながら行動していかなければならないと感じました。
- ・熊の被害もあるが、それ以外の動物の数字も客観視できた。
- ・映像が大変分かりやすかったです
- ・普段見られない映像でとても貴重だと感じました
- ・熊の生態はもちろん、ニュースなどで報道されていない詳しい内容も知ることができ大変充実した研修でした。
- ・生態や行動のメカニズムなど、クマに関する専門的な知識を得ることができ、勉強になりました。
- ・普段見ることのできない動画や画像、実際のクマの生態について知ることができ、今後の事業等で活用できればと思います。
- ・エゾヒグマの実態を詳しく知れるいい機会だった。
- ・生徒にも共有し、春から始まる登山実習やキャンプ実習につなげていきたい。

6. 事業の成果

- ・オンラインで行うことで、より多くの参加者を集めることができた。
- ・今回は実施しなかったが、講義の録画を事後に配信して欲しいという要望もあった。
- ・熊への対策は野外活動を行う上で欠かせないものとなっているため、興味を持っている方が多いと感じた。このような研修の機会を多く作り、クマに対する正しい認識を持つ人を増やすことが、自然体験活動を広める一助になるのではないかと考える。